

瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョン取組状況調査票（平成28年度事業）

資料5

連携協約項目	事業（取組）	K P I（成果指標）							H28年度の目標設定方法及び目標値に対する実績の理由	ビジョン最終年度目標 H35年度	高松市	連携市町評価						H28年度高松市取組実績	連携市町評価の理由			
		KPI	KPI説明	単位	現況値 H27年度	目標 H28年度	実績 H28年度	目標達成度				さぬき市	東かがわ市	土庄町	小豆島町	三木町	直島町			綾川町		
ア	産学官民一体となった懇談会の設置・運営等、国の成長戦略実施のための体制整備	1	産学官民一体となった懇談会の設置・運営等	圏域全体の経済成長のけん引等に係る連携事業数	瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョンに掲載する圏域全体の経済成長のけん引分野の事業（取組）数	事業	13	14	13	92.9%	H35年度までに、4事業を追加することとしており、計画期間前半の2年間で1事業を追加する。H28年度には、新規・拡充事業の検討を行ったが、当該分野に係る新規事業の追加には至らなかった。	17	A	A	A	A	A	B	B	A	産学官民から選出された委員により構成する「瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョン懇談会」を設置した。ビジョン懇談会を年間2回開催し、連携中枢都市圏ビジョンの新規・拡充事業について意見をいただいた。ビジョン全体の事業数は新規1事業が加わり71事業となった。	【さぬき市】ビジョン懇談会に積極的に参加できた。 【東かがわ市】産学官民一体となった懇談会の設置・運営等が適正になされた。 【土庄町】産学官民一体となった懇談会の設置・運営等が適正になされた。 【小豆島町】懇談会が設置された。また、各連携市町からも委員が出ることにより、各市町の実情に応じた運営ができています。 【三木町】今後も産学官民一体となって連携や交流をしていく必要がある。 【直島町】ビジョン策定懇談会など積極的に参加できた。 【綾川町】ビジョン策定懇談会など積極的に参加できた。
	産業クラスターの形成、イノベーション実現、新規創業促進、地域の中堅企業等を核とした戦略産業の育成	2	中小企業経営力強化事業	講習会等受講者数	1年間に開催した講習会等の受講者数	人	2,108	2,325	2,198	94.5%	受講者数については第6次総合計画の指標にもなっており、目標設定は総合計画と同数にしている（H26年度実績2,271人を現況値として毎年度25人程度増）。	2,500	A			B	D				H28年度は、「プレゼンテーションスキルアップセミナー」など、年16回の講習会を開催した。同じ事業費（共催負担金1,600千円）で前年度より講習会実施回数・受講者数とも増加しており、内容も中小企業等のニーズを的確にとらえて実施できた。	【土庄町】実績あり 【小豆島町】実績なし
	地域資源を活用した地域経済の裾野拡大	3	ブランド農産物育成支援事業	たかまつ食と農のフェスタにおける出展者販売額	たかまつ食と農のフェスタを開催し、連携市町からも出展してもらい、地域の特産物のPR及び販売促進を図る。	千円	9,183	9,300	9,010	96.9%	○H28年度の目標設定方法：H27年度実績からの増額を目標とした。 ○目標値に対する実績の理由：目標額には及ばなかったが、ほぼ前年並みの販売額となった。	10,000	A	B	B	B			D	たかまつ食と農のフェスタを開催し、連携市町からも出展の協力を得て地域の特産物のPR及び販売促進を図った。	【さぬき市】たかまつ食と農フェスタにさぬき市から3団体の出展があり、多くの消費者の方に対して特産品のPR及び販売促進が図られた。 【東かがわ市】東かがわ市農作物トップセールスを実施したが、連携したPRには至っていない。 【土庄町】圏域と連携を図りつつ運営及び情報発信を行った点は評価。今後の継続的な展開について課題である。 【綾川町】実績なし。広域でパンフレットを作成する方が、紹介できる品目が多くなり魅力的なパンフレット作成が可能である。広域での特産品販売やイベントでの販売等も検討する必要がある。	
		4	国内誘客促進事業	観光施設等利用者数	市内の主な観光施設等利用者数	千人	6,654	6,640	6,895	103.8%	【目標の設定方法】本事業に取り組むことで、圏域への誘客を促進し、観光施設利用者の増加を図るもの。 【目標値に対する実績の理由】瀬戸内国際芸術祭が開催されたことにより、目標値及び昨年度よりも多くの方が、観光施設等を利用した。	6,640	A	D	B	B	B	D	B	D	瀬戸・高松広域連携中枢都市圏への誘客を促進するため、高松空港と羽田空港を結ぶ定期航路を有する航空会社と連携し、プロモーションを展開した。また、吉備S A、西宮名塩S A、宮島S Aの3箇所に本市の誘客型パンフレットを設置するとともに、香川県トラック協会の協力を得て、大型トラックのコンテナの背面に観光PRシールを掲出し、瀬戸・高松広域連携中枢都市圏のPRを行った。	【さぬき市】協力体制についてのプランができていない。 【東かがわ市】実績なし 【土庄町】観光やイベント情報提供・発信により圏域の観光振興を図っている。引き続き圏域及び地域と連携し、観光振興に努めたい。 【小豆島町】こうまつりにおいて、県・高松市・小豆島町でジャンボフェリーによる、関西圏からの誘客を進めるPR活動を共同で行い、誘客活動が図れた。 【三木町】観光客目線でのより良い情報発信に努めていく必要がある。 【直島町】違法駐車を取り締まりや、イルミネーションの実施での受け入れ環境の整備が図られた。 【綾川町】実績なし。広域及び県とも連携した観光プロモーションであれば協力は可能であるとする。
	5	観光プロモーション事業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A	C	A	A	D	A	C	C	瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の観光振興を図るため、観光プロモーション事業を実施する選定事業者に、補助を行った。実施5事業（応募38事業）	【さぬき市】協力体制についてのプランができていない。 【東かがわ市】実績なし 【土庄町】連携事業の実施にまで至っていない。 【小豆島町】実績なし 【三木町】観光資源の再発掘と観光事業や情報発信等の見直しを進め、高松市と近隣市町との連携を強化していくことで改善を図る必要がある。 【直島町】協力体制についてのプランができていない。 【綾川町】実績なし。広域及び県とも連携した観光プロモーションであれば協力は可能であるとする。

瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョン取組状況調査票（平成28年度事業）

資料5

連携協約項目	事業（取組）	K P I（成果指標）							H28年度の目標設定方法及び目標値に対する実績の理由	ビジョン最終年度目標 H35年度	高松市	連携市町評価						H28年度高松市取組実績	連携市町評価の理由	
		KPI	KPI説明	単位	現況値 H27年度	目標 H28年度	実績 H28年度	目標達成度				さぬき市	東かがわ市	土庄町	小豆島町	三木町	直島町			綾川町
1 圏域全体の経済成長のけん引 Ⅱ 戦略的な観光施策	6 海外誘客促進事業	香川県外国人延べ宿泊数	香川県内の外国人延べ宿泊者数	人	210,470	260,000	356,730	137.2%	【目標の設定方法】 政府目標である「訪日外国人数を2020年に4000万人」の伸び率を上回る宿泊者数の増加を目指す。 【目標値に対する実績の理由】 H28年度中に高松空港に香港便が就航、ソウル便と上海便が増便したことにより、目標値よりも多くの外国人観光客が本市を訪れた。	700,000	A	D	B	B	B	D	D	D	高松空港と定期航路で結ばれた台北、上海、ソウル、香港からの観光客誘致するため、公益社団法人香川県観光協会に対し、補助を行うとともに、（公財）高松観光コンベンション・ビューローが実施する誘客事業に対し補助を行った。 平成28年の香川県の外国人延べ宿泊客数は356,730人泊（速報値）となっており、対前年比+69.5%は、全国1位の伸び率となっている。	【さぬき市】協力体制についてのプランができていない。 【東かがわ市】香港との積極的な交流を展開し、市の交流人口の増加が図れたが、圏域全体での取組には至っていない。 【土庄町】連携事業の実施にまで至っていない。 【小豆島町】インバウンド、特に中国、台湾、韓国を中心とした海外観光客は近年、増加の一途をたどり、圏域の観光業を中心とした経済効果は非常に高いと思われる。また、インバウンドに向けた外国語標記等の対策については今後も整備を強化する必要がある。 【三木町】観光資源の再発掘と観光事業や情報発信等の見直しを進め、高松市と近隣市町との連携を強化していくことで改善を図る必要がある。 【直島町】外国人観光客の増加を実感することができるが、協力体制についてのプランができていない。 【綾川町】実績なし。広域及び県とも連携した観光プロモーションであれば協力は可能であると考える。
	7 国内外観光客向け情報発信事業	観光施設等利用者数	市内の主な観光施設等利用者数	千人	6,654	6,640	6,895	103.8%	【目標の設定方法】 本事業に取り組むことで、圏域への誘客を促進し、観光施設利用者の増加を図るもの。 【目標値に対する実績の理由】 瀬戸内国際芸術祭が開催されたことにより、目標値及び昨年度よりも多くの方が、観光施設等を利用した。	6,640	A	D	B	B	B	D	D	C	昨年に引き続き、瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の観光振興のため、（公財）高松観光コンベンション・ビューローが作成する「ぶち旅プラン（着地型旅行商品）」の企画・販売事業を支援した。 コース数 12コース 参加者数 169名	【さぬき市】協力体制についてのプランができていないため。 【東かがわ市】市HP観光情報ページを高松市HPとリンクさせ、PRを行った。 【土庄町】特にインバウンド対策の整備を進めているが、その効果についての検証が十分に図れていない。 【小豆島町】国内観光客への情報提供はほぼ満足のいく発信ができていと思うが、インバウンド対策は、瀬戸芸などで少しずつ整備が整ってきているが、まだまだ改善の余地がある。 【三木町】 【直島町】協力体制についてのプランができていないため。 【綾川町】観光協会ホームページを活用し、今後内外へ発信していく。広域の観光協会ホームページをリンクさせることで、エリアの情報を広くPRすることは可能であると考える。
	8 瀬戸内国際芸術祭推進事業	来場者数	高松市内の瀬戸内国際芸術祭来場者数	人	—	583,132	644,299	110.5%	瀬戸内国際芸術祭2013の来場者数を基に目標値を算出する。 会場毎に基準施設を設け、その来場者数を集計し、実績値とする。	644,000 (H31)	A			A	A		D	瀬戸内国際芸術祭2016の開催（H28.3.20～H28.11.6）。各種イベントの実施、屋島山上作品の設置・管理、高松市版総合ガイドブック「めぐるーと高松」の作成・配布等。 ■開催日数：108日間 ■来場者数：1,040,050人（内高松市内231,167人）	【土庄町】他県から観光客はもとより、国外からの来場者が増えた。瀬戸内国際芸術祭の知名度がより広く浸透している。 【小豆島町】多くの観光客が訪れることで瀬戸内の魅力をPRできている。また、地元住民がお接待や受付を行うことで、地域の人自身が誇りと自信を取り戻すきっかけとなっており、地域の魅力を向上する取組となっている。 【直島町】瀬戸内国際芸術祭の事業成果は大きいですが、協力体制についてのプランができていない。	
	9 新たな観光プランの企画、販売等	観光施設等利用者数	市内の主な観光施設等利用者数	千人	6,654	6,640	6,895	103.8%	【目標の設定方法】 本事業に取り組むことで、圏域への誘客を促進し、観光施設利用者の増加を図るもの。 【目標値に対する実績の理由】 瀬戸内国際芸術祭が開催されたことにより、目標値及び昨年度よりも多くの方が、観光施設等を利用した。	6,640	A	C	C	C	D	D	D	D	昨年に引き続き、瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の観光振興のため、（公財）高松観光コンベンション・ビューローが作成する「ぶち旅プラン（着地型旅行商品）」の企画・販売事業を支援した。 コース数 12コース 参加者数 169名	【さぬき市】ぶち旅プランに市内の施設が紹介され、一定の成果はあったが、協力体制についてのプランができていないため。 【東かがわ市】実績なし 【土庄町】特有の観光資源やイベント等を観光客誘致に活用しているが、もう一つの役割である高松観光コンベンション・ビューローの賛助会員等として、同財団の実施する企画・販売事業の支援ができていない状況であり、その支援方法等どのような形で連携できるかが課題である。 【小豆島町】実績なし 【三木町】観光資源の再発掘と観光事業や情報発信等の見直しを進め、高松市と近隣市町との連携を強化していくことで改善を図る必要がある。 【直島町】協力体制についてのプランができていない。 【綾川町】実績なし。
	10 イベント交流の促進	まつり・イベント入込み客数	観光客誘致に資するまつり・イベント実行団体発表の入込み客数をカウント	人	1,283,962	1,346,200	1,230,385	91.4%	【目標の設定方法】 本事業に取り組むことで、圏域への誘客を促進し、まつり・イベント集客数増加に繋げる。 【目標値に対する実績の理由】 高松まつりが記念大会であった前年度入込客数を上回ることができなかった。	1,373,200	A	D	B	B	B	A	D	C	魅力ある観光イベントの振興・活性化や観光客の誘致促進のため、瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の代表するイベントである高松まつりなどに、補助を行った。 イベント補助件数 14件	【さぬき市】協力体制についてのプランができていないため。 【東かがわ市】圏域内に「引田ひなまつり」や「風の港まつり」などのイベント周知宣伝活動を行った。 【土庄町】観光やイベント情報提供・発信により圏域の観光振興を図っている。引き続き圏域及び地域と連携し、観光振興に努めたい。 【小豆島町】圏域全体で観光振興を行うことで、全体のPRにつながる。 【三木町】地域の魅力や知名度アップによる観光客誘致等の経済波及効果が期待される。 【直島町】協力体制についてのプランができていないため。 【綾川町】本町で開催のイベントの周知や広域でのイベントの周知や特産品の販売などを新たに出来たHPにおいてPRしていく必要がある。

瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョン取組状況調査票（平成28年度事業）

資料5

連携協約項目	事業（取組）	K P I（成果指標）							H28年度の目標設定方法及び目標値に対する実績の理由	ビジョン最終年度目標 H35年度	連携市町評価						H28年度高松市取組実績	連携市町評価の理由			
		KPI	KPI説明	単位	現況値 H27年度	目標 H28年度	実績 H28年度	目標達成度			高松市	さぬき市	東かがわ市	土庄町	小豆島町	三木町			直島町	綾川町	
	11	デリバリーアーツ事業	鑑賞者数	参加を希望される協力団体の提供場所の規模により、鑑賞者数に偏りがあるため、鑑賞者数では判断し兼ねる。限られた予算の中で、公演の質の維持と事業を継続していくことを重点に実施する。	人	1,540	1,800	1,657	92.1%	事務事業評価と合わせた鑑賞者数で目標設定を行う。コミュニティセンターなどの大規模な場所よりも老人福祉施設など小規模な場所での開催が増えているため、鑑賞者数が目標値に達成しなかったが、開催した団体からは好評であるため再度実施したいという要望が多く、満足度は高いといえる。市民の身近なところで文化芸術に触れる機会を提供するという事業目的も達成している。	2,500	A	B	D	C				<ul style="list-style-type: none"> ■開催回数：全16回（内さぬき市1回） ■鑑賞者数：1,657人（内さぬき市100人） 落語、アンサンブル演奏、和太鼓、金管五重奏、影絵劇、トルンコンサート6メニューで実施。連携市町に呼びかけ、さぬき市でも実施した。前年度よりも鑑賞者が117人増えたとともに、開催した団体から好評であり、再度実施したいという要望が多く、満足度が高いといえる。	【さぬき市】出前講座を行ったが取組メニューについて柔軟に対応する必要がある。 【東かがわ市】実績なし 【土庄町】連携事業の実施にまで至っていない。 【綾川町】実績なし	
		12-1	文化芸術鑑賞等の機会の提供（劇団四季ミュージカル鑑賞）	鑑賞者数	児童、先生をあわせた鑑賞者数（連携市町も含む）高松市と連携市町の全6年生を招待しているため、児童数と引率教員数が鑑賞者数となる。平成25年～27年の平均鑑賞者数を基に目標比を算出する。（H25:4,985人、H26：5,323人、H27：5,143人）	人	5,143	5,150	5,303	103.0%	H25年～27年の平均鑑賞者数を基に目標値を算出する。児童数と引率教員の合計数がそのまま鑑賞者数となるため、その年の児童数の増減による。	5,300	A	B	D	A	A	A	A	高松市・さぬき市・土庄町・小豆島町・三木町・直島町・綾川町の全6年生の児童と引率教員が参加。	【さぬき市】演目の設定から劇中の言葉や動作に人権教育配慮を要する部分がある。また、対象となる児童が第6学年だけであり、中学生まで対象とした事業展開の余地があるとして判断した。 【東かがわ市】実績なし 【土庄町】圏内市町の小学校との連携体制ができており、毎年継続的に効果的な運営がなされている。 【小豆島町】通常の授業ではふれあうことのできない文化芸術（ミュージカル）を鑑賞することで、コミュニケーション能力及び情操教育の向上につながっている。 【三木町】鑑賞機会が少ない児童にとって貴重な体験となり、情操教育の一助となっている。 【直島町】圏域内の小学校との連携が密にできているだけでなく、実施体制が確立されており、毎年スムーズな運営ができています。 【綾川町】町単独では、この規模の事業を実施するための十分な施設を有しておらず、管内の児童に芸術鑑賞の機会の提供をすることが難しいが、本事業により、多くの児童に芸術鑑賞の機会を提供することが可能となっている。
		12-2	文化芸術鑑賞等の機会の提供（美術館学習）	校数	参加校数	校	—	—	—	—	—	35	H29年度以降実施							—	—
		13	観光バリアフリーのためのUDマップ作成・活用事業	UDマップ掲載HP閲覧数	連携中枢都市圏のHPにUDマップを掲載する予定のため、掲載後のHP閲覧者数をKPIとする	件	—	—	—	—	—	—	A	—	—	—	—	—	—	—	UDマップの作成について、県と協議を行い、県との連携を模索した。
高次の都市機能の集積・強化	高度な医療サービスの提供	14	新病院整備事業	建設工事の進捗率	年度ごとの建設（新築・機械・電気）工事の進捗率が計画どおり行われているか確認するもの	%	0.2	17.2	14.9	86.6%	H28年度目標設定方法は、総事業費に対する年度別事業費で算出しています。H28年度の目標値に対する実績の理由は、H28年度決算額に基づき算出したものです。	100	A	—	—	—	—	—	<ul style="list-style-type: none"> 【新病院】 ① 建設工事 ② 駐車場整備工事等 ③ 医療機器等導入計画策定 ④ 埋蔵文化財発掘調査 【附属医療施設】 ⑤ 不動産鑑定料 	—	
		15	医療人材の確保・育成	看護師等養成所卒業生の資格取得率	看護師等養成所の運営に対して助成を行い、卒業生の資格取得率の向上を図ることで、新たな医療人材の確保を達成する。	%	96.5	100	100	100.0%	平成28年度から最終年度まで同じ目標値を設定しており、平成28年度は卒業生全てが資格を取得することができた。	100	A				A		看護師及び准看護師の養成所（高松市医師会看護専門学校、木田地区医師会附属看護学院）の運営費の一部を助成することにより、医療人材の確保を図った。	【三木町】准看護師の育成に寄与している。	
		16	医療職員の交流等	地域医療連携カンファレンス・セミナーにおける市外参加者数	地域の連携医療機関の医師との医療連携を進めるため、地域医療連携カンファレンス・セミナーを開催し連携強化に努める	人	10	12	1	8.3%	27年度と比較して16人（年2人程度）増やす	26	D	D	B	D	D	A	院外で講師を招聘し、地域医療連携カンファレンス開催 H28.6月 徳島大学大学院医歯薬学 研究部 運動機能外化学 西良教授（参加者125人）	【さぬき市】さぬき市民病院からは、本事業に参加できなかったため評価は難しい。 【土庄町】平成28年度から土庄中央病院が閉院になり、小豆島中央病院企業団が設立され、小豆島中央病院が開院しており、医療職員の交流について把握できていないため評価が難しい。 【小豆島町】評価できない。 【三木町】取り組みがないため評価できない。 【綾川町】医療職員の医療連携を進めるための地域医療連携カンファレンスを開催し、連携強化に努めている。	
17	ICカードを利用した公共交通利用促進事業	公共交通利用促進事業実施自治体数	取組の目的は、ICカード「IruCa」を利用した公共交通利用促進事業を拡大することにより、公共交通の利便性を向上し、利用の促進を図るものであり、施策の参加自治体を増やす。	自治体	1	1	1	100.0%	28年度は、連携自治体に対し、事業の有効性等について周知し、事業の有効性等について周知する段階と位置づけ、新たな参加については次年度以降と考える目標を設定した。	4	A	D	B	A	D	A	連携自治体に対し、事業の有効性等について周知し参加を呼び掛けた。 綾川町が参加に理解を示し、29年度の導入について前向きに検討してくれることとなった。	【さぬき市】実施していない。 【土庄町】さらなる利用拡大・促進を行っていく必要があるため。 【小豆島町】小豆島オーリーブスだけでなく、町営バスの導入も既に行っている 【三木町】取り組みがないため評価なし 【綾川町】平成29年度からの事業実施に向けて十分協議ができています。			

瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョン取組状況調査票（平成28年度事業）

資料5

連携協約項目	事業（取組）	KPI（成果指標）							連携市町評価							H28年度 高松市取組実績	連携市町評価の理由			
		KPI	KPI説明	単位	現況値 H27年度	目標 H28年度	実績 H28年度	目標 達成度	H28年度の目標設定方法及び 目標値に対する実績の理由	ビジョン 最終年度 目標 H35年度	高 松 市	さ ぬ き 市	東 か が わ 市	土 庄 町	小 豆 島 町			三 木 町	直 島 町	綾 川 町
高等教育・研究開発 の環境整備	18 大学等と連携した、将来の圏域を担うリーダーの育成	大学等との連携・協力事業数	庁内照会により把握した大学等との連携・協力事業数	事業	93	95	94	98.9%	年間4事業ずつ連携事業を増やし、平成35年度までに130事業を目指す。 連携事業は94事業となり、概ねH28年度の目標は概ね達成した。	130	A	B	A	B	D	D	D	C	若者に選ばれる大学づくり・まちづくりをテーマとして、市長と県内大学の学長との懇談会の開催により意見交換を行った。 香川大学と自治体の連携により、地域を志向する教育の実施を目的としたCOC事業をはじめ、県内大学と75の連携事業を実施した。	【さぬき市】職員の能力向上を図れることから一定の成果はある。 【東かがわ市】本市と香川大学との域学連携事業を実施しているが、圏域内の連携には至っていない。 【土庄町】連携事業の実施にまで至っていない。 【小豆島町】今後協力する可能性がある。 【三木町】香川大学と包括的連携協定を締結(H28)したこともあり、今後、香川大学をはじめ大学等との連携を強化していく。 【直島町】具体的な取り組みに至っていない。 【綾川町】大学との連携はできているが、本町での実績がない。
	19 産学官連携推進事業	大学及び企業等との連携事業数	庁内照会により把握した大学等との連携・協力事業数及び包括協定を締結する企業等との連携事業数	事業	111	116	112	96.6%	大学等との連携・協力事業数及び包括協定を締結する企業との連携事業数（H27年度18事業から年間1事業ずつ増加）の合計	156	A	D	A	C	D	D	D	B	包括協定を締結している金融機関等の連携協力事業数は10事業であった。	【さぬき市】圏域内の大学が連携し課題解決のため調査研究を行うことは非常に意義があると思われるが、取組が進んでいない。 【東かがわ市】本市と香川大学との域学連携事業を実施しているが、圏域内の連携には至っていない。 【土庄町】連携事業の実施にまで至っていない。 【小豆島町】実績なし 【三木町】取組に関して今後も大学等との連携や交流を模索していく必要がある。 【直島町】具体的な取り組みに至っていない。 【綾川町】高松市は、圏域内大学等と連携が十分取れているが、連携事業の実施に至っていない。
(ア) 地域医療	20 高松市民病院・塩江分院・香川診療所運営事業	紹介率・逆紹介率（市民病院）	患者の紹介・逆紹介等の実施により、圏域の医療提供体制の充実が図られるとともに、連携町からの患者を受け入れる。	%	紹介率 59% 逆紹介率 90%	紹介率 50%以上 逆紹介率 70%以上	紹介率 61% 逆紹介率 79%	100.0%	地域医療支援病院の要件である紹介率50%以上かつ逆紹介率70%以上	紹介率 50%以上 逆紹介率 70%以上	A			C	D	D	D	C	高松市立病院の医療機能を発揮・活用するために、当院の地域医療連携室において、患者の紹介・逆紹介等地域医療連携に取り組み、紹介率61%、逆紹介率79%となった。	【土庄町】病診連携により、連携町からの患者を受け入れやすくなることは評価できるが、紹介率、逆紹介率に関しては、連携町として評価しにくい。 【小豆島町】実績なし 【三木町】町立の医療機関を有せず、直接的な取り組みを行っている状況ではないことから、評価をすることが困難である。 【直島町】具体的な取り組みに至っていない。 【綾川町】綾上診療所は、高松市民病院へ十分に紹介できていない。
	21 救急医療体制の確保	市民満足度における「医療体制の充実」の満足度	休日・夜間における初期及び二次救急医療体制の確保を図ること、市民が安心して暮らすことのできる環境づくりを目指す。	%	40.3	40.9	42.4	103.7%	平成28年度から毎年度0.6%ずつ上昇させ、最終年度に45.3%の目標値を設定している。 平成28年度市民満足度調査の結果において42.4%であった。	45.3	A					B	A	A	地区医師会への在宅当番医制の委託、歯科救急医療センターにおける休日・夜間歯科診療運営事業への助成、病院群輪番制病院運営事業に対する助成及び夜間急病診療所の指定管理者による運営により、休日・夜間における初期及び二次救急医療体制の確保を図った。	【三木町】今後も関係市町と連携し、住民が安心して医療を受けられるよう継続して支援をしていく必要がある。 【直島町】救急体制を確保するために十分な支援が行っている。 【綾川町】休日・夜間における初期及び二次救急医療体制の確保を図っていることで、住民が安心して暮らすことのできる環境づくりが確保されている。
	22 救急艇の活用	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A			A	A		C	—	搬送実績 土庄町：35件 小豆島町：20件	【土庄町】救急艇の活用について連携していることで、救急搬送体制の強化につながっており、成果をあげているが、当町における医療従事者不足による搬送時の負担等課題がある。 【小豆島町】小豆構想区域内で定期航路の無い夜間に発生した小豆島中央病院で対応できない高度医療が必要な救急患者について、高松市との連携において実施する救急艇を用いた島外搬送で、医療連携として重要な事業である。 【直島町】当町においても救急患者を輸送する船を所有しており、活用実績がない。
	23 島しょ部(土庄町及び小豆島町)への医師派遣事業	医師派遣件数	医師の派遣に関する協定に基づく、派遣件数	件	12	12	12	100.0%	高松市民病院の医師を、島しょ部である小豆島町の自治体病院に派遣した回数	24	A			A	A				高松市民病院の医師を、島しょ部である小豆島町の自治体病院（小豆島中央病院）に派遣し、小豆島における医療水準の維持・向上に貢献した。	【土庄町】医師の派遣に関する協定に基づく派遣が行われている。 【小豆島町】医師派遣が実施されている。
24 遠隔医療ネットワークを使った連携	医療情報公開実績件数（累計）	患者さんの同意に基づき、参加医療機関からの求めに応じた診療情報（画像・カルテ等）の公開件数 年50件、H28～H35までの8か年の累計	件	101	50	45	90.0%	地域の医療機関全てが、ネットワークに参画していないこと、また、利用する機会も限られることから、目標に達しなかった。	400	A	B		A	D	D		D	開業医訪問等を実施する中で、必要に応じて、K-MIXの利用促進を図っている。	【さぬき市】救急対応時の手続きの簡素化により、他の医療機関の医療情報を参照するという連携は強化され、一定の成果は上がっているが、救急患者以外の利用における患者への説明と同意等の手続きが煩雑であることから、利用件数は伸びていない。 【土庄町】救急対応時の手続きの簡素化により、他の医療機関の医療情報を参照するという連携は強化され、一定の成果は上がっている。 【小豆島町】公開件数把握できていないため、評価できない。 【三木町】町立の医療機関を有せず、直接的な取り組みを行っている状況ではないことから、評価をすることが困難である。 【綾川町】綾上診療所は、K-MIXのネットワークに参画しているが、まだ利用できていない。	

瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョン取組状況調査票（平成28年度事業）

資料5

連携協約項目	事業（取組）	K P I（成果指標）								連携市町評価						H28年度 高松市取組実績	連携市町評価の理由			
		KPI	KPI説明	単位	現況値 H27年度	目標 H28年度	実績 H28年度	目標 達成度	H28年度の目標設定方法及び 目標値に対する実績の理由	ビジョン 最終年度 目標 H35年度	高 松 市	連携市町評価								
												さ ぬ き 市	東 か が わ 市	土 庄 町	小 豆 島 町			三 木 町	直 島 町	綾 川 町
3 圏域 全体 の生 活関 連機 能サ ー ビ ス の 向 上 生活機能の強化に係る政策分野	25 「地域包括ケア病棟」設置事業	地域包括ケア病棟開設	地域包括ケアシステムの中で、その一翼を担うため、地域包括ケア病棟の開設し、患者の在宅復帰支援を行う。（在宅復帰率）	%	—	—	—	—	—	70	H29年度以降に実施	—	—	—	—	—	—	地域包括ケア病棟の開設に向けた準備を進めた。		
	26 地域密着型サービス（認知症対応型共同生活介護）広域利用事業	当該事業所周知率	当該サービス事業者の指導・監督権限を有するため周知を行った割合	%	100	100	100	100.0%	当該サービス事業者の指導・監督権限を有する施設を目標値とし、周知を行った件数を実績とした。	100	A					C		高松市地域密着型サービス事業者指定に係る制限に関する要綱において、本市域内の地域密着型サービス（認知症対応型共同生活介護）については、原則、本市転入後6ヶ月を経過しない者の利用又は入居はできないが、当該サービス事業所がない直島町からの転入者には、6ヶ月が経過していなくても利用又は入居できる運用とする。	【直島町】受入れ態勢は整いつつある。	
	27 医療介護連携事業	多職種連携構築度評価平均得点	多職種連携研修等に参加している専門職による、地域の多職種連携構築度評価の平均得点（最高10点、最低0点）	点	—	—	4.0	—	H28年度より設定した値のため、参考値として実績値のみ記載する。	10	A				B	D		平成30年度までに実施する必要がある、在宅医療・介護連携推進事業の8事業項目において、H28年度に新規に取り組んだ下記の事業を含めて、全ての事業に取り組むことができた。 ○在宅ケア便利帳の作成 ○在宅医療と介護に関する市民公開講座の開催 ○同一医療圏（三木・直島）関係者会の開催	【三木町】H28年度に在宅医療・介護連携推進協議会が発足し、一定の成果は上がっているが、今後協議を重ね、取り組みを広げていく必要がある。 【直島町】具体的な取り組みに至っていない。	
	28 地域包括支援センター運営事業	自立高齢者率	介護・支援を必要としない65歳以上の高齢者の割合（%）	%	78.9	78.4	78.4	100.0%	H27年度よりビジョン最終年度（H35年度）に目標を達成するために8年計画にて算出した。	74.6	A			C	D	D	C	新しい総合事業におけるケアマネジメントについて、必要に応じて圏域内自治体と情報交換を行った。	【土庄町】連携事業の実施にまで至っていない。 【小豆島町】実績なし 【三木町】圏域内の市町において情報交換をし、ノウハウの共有や連携することは重要であるが、意見交換会という形式での実施はなかった。 【綾川町】地域包括支援センターとしての広域的な連携が十分にはできていない。	
	29 認知症ケア推進事業	認知症サポーター数（累計）	認知症サポーター養成講座の受講人数（人）	人	34,279	34,000	38,844	114.2%	住民に対して、認知症に対する理解を周知啓発している。	56,700	A			C	D	B	C	認知症初期集中支援チーム及び認知症カフェ等の設置について、必要に応じて圏域内自治体と情報交換を行った。	【土庄町】連携事業の実施にまで至っていない。 【小豆島町】実績なしのため 【三木町】認知症サポーター養成講座の受講者は年度によるばらつきはあるものの、地域に認知症の理解者が確実に増えていることは、大切であり、取り組みをさらに継続していく必要がある。 【綾川町】広域的な連携は無く、認知症サポーターの活動に関する情報交換等の機会も無い。	
	30 地域ケア会議推進事業	地域ケア会議推進事業	地域課題を解決するための取組をしている地区数	地域福祉ネットワーク会議において、地域課題を解決するための取組をしている地区数（地区）	地区	4	48	28	58.3%	高齢者保健福祉計画にて目標値を設定している。44コミュニティすべてに地域福祉ネットワーク会議開催を働きかけているが、地域の状況が異なるため目標値を下回った。	48	C			C	D	A	D	地域ケア小会議（地域課題）の設置運営方法について、必要に応じて圏域内自治体と情報交換を行った。	【土庄町】連携事業の実施にまで至っていない。 【小豆島町】実績なし 【三木町】さまざまな地域課題を解決するため必要なスキルアップと情報共有することに有用な機会である。 【綾川町】地域ケア会議の中で議論されたことが、施策等に反映されるような検討がまだなされていない。市町を超えた広域的な支援対策も不十分である。
	31 徘徊高齢者保護ネットワーク	徘徊高齢者保護ネットワーク	徘徊高齢者保護ネットワークに提供された、徘徊高齢者の検索依頼件数に対する発見割合	%	92.0	100	94.7	94.7%	徘徊高齢者の早期発見を目指しているため、目標は全員発見することである。28年度の実績値は、19件の検索依頼のうち18件発見できたことによるもの。	100	A	B	B			D	D	認知症高齢者の行方不明事案が発生した場合に、警察署や市役所の関係課、地域コミュニティ協議会などの団体等が互いに連携する「徘徊高齢者保護ネットワーク」を活用し、より広域で徘徊高齢者の情報を共有化することにより、当該高齢者の早期発見に取り組んだ。平成28年度の連携中枢都市圏域でのネットワーク利用は、1件であった。	【さぬき市】徘徊高齢者の保護についてネットワークを構築しているが、今後、ネットワークの活用について、協議していく必要がある。 【東かがわ市】かがわ高齢者見守りネットワークにより広域的に実施している。 【三木町】実績がないため評価ができないが、取り組みの必要性は高いものと考えている。なお、圏域を超えての広域的な取り組みも想定している。 【綾川町】県事業（警察署含む）としてのネットワーク会議はあるが、広域事業としての会議は無い。	

瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョン取組状況調査票（平成28年度事業）

資料5

連携協約項目	事業（取組）	K P I（成果指標）							H28年度の目標設定方法及び 目標値に対する実績の理由	ビジョン 最終年度 目標 H35年度	連携市町評価						H28年度 高松市取組実績	連携市町評価の理由		
		KPI	KPI説明	単位	現況値 H27年度	目標 H28年度	実績 H28年度	目標 達成度			高 松 市	さ ぬ き 市	東 か が わ 市	土 庄 町	小 豆 島 町	三 木 町			直 島 町	綾 川 町
(ウ) 福祉	32 介護認定審査会事業	介護認定審査会開催件数	原則週2回開催される介護認定審査会開催の開催数（グループ毎の合計）	回	794	804	775	96.4%	目標設定方法：認定審査会の年間開催予定数を目標値とする。実績の理由：審査案件数が少ない週は認定審査会が不開催となる合議体も発生するため、目標値を下回った。	804	A					A	A	A	3町から委託された審査案件全てを認定審査会にて審査・判定した。 11月末に1市3町の連絡会を実施し、意見交換等の情報共有を図った。	【三木町】「介護認定審査会業務の事務委託に関する規約」に基づき、十分な取組が行われている。 【直島町】介護認定審査会業務の連携について、体制も確保されており、十分な取組が行えている。 【綾川町】介護認定審査会業務の連携について、体制も確保されており、十分な取組が行えている。
	33 自立支援協議会運営事業	全体会開催回数	定期的な情報共有を図るとともに、検討する場として開催している、全体会開催回数を成果指標とする。	回	2	2	2	100.0%	例年通り年2回開催を継続。	2	A					A	A		・障害福祉施策についての周知を行った。 ・関係機関の連携強化及び相談支援の充実・強化を図るための研修等を行った。 ・専門部会等の運営を行った。 ・その他の相談支援充実・強化を図るための事業を行った。	【三木町】高松圏域自立支援協議会が行う相談支援の充実、強化を図るための研修等について、体制も確保されており、十分な取組が行われている。 【直島町】自立支援協議会運営業務の連携について、体制も確保されており、十分な取組が行えている。
	34 障害支援区分等審査会業務の連携	審査会開催回数	原則毎週水曜日に審査会を開催していることから、開催回数を成果指標とする。	回	50	50	48	96.0%	年間最大50回の開催を継続。H28年度は案件数が少ない回があり、開催を2回見送った。	50	A					A	A	A	・審査会を48回開催し、市と3町の審査について、引き続き連携した。 ・審査件数：高松市562件、三木町42件、直島町5件、綾川町40件	【三木町】審査会業務において、体制も確保されており、十分な取組が行われている。 【直島町】障害程度区分等審査会業務の連携について、体制も確保されており、十分な取組が行えている。 【綾川町】開催回数の確保ができることにより、安定したサービスの提供ができています。また事務の効率化ができており、貢献度が非常に大きい。
	35 ファミリーサポートセンター事業	ファミリーサポートセンター事業利用件数	ファミリーサポートセンター事業利用件数	件	6,369	7,000	6,686	95.5%	平成27年度実績から目標を設定した。この制度を利用せず、他の制度を利用したのか、目標値には達しなかった。しかし、平成27年度より利用者は増えている。	7,000	A	C				B	B		援助活動件数：6,686件 会員養成講座：年間で計3回開催、会員スキルアップ講座：年3回開催、会員交流会：年2回開催 ファミサポ通信：20・21号発行	【さぬき市】まかせて会員養成講座を高松市で受講し、さぬき市で登録した会員：1名 平成28年度においては広域連携に該当する利用はなかった。 【三木町】利用件数は大幅に増加しており、中でも、保育施設までの迎えや子どもの習い事等の利用が多く、住民のニーズは高い。 しかし、会員登録数は微増であるため、更なる事業のPRが必要である。 【綾川町】利用が必要な保護者に対して、啓発をしているが、まかせて会員の登録はあるが、利用希望にそわないことがあったり、制度についての理解が少なかったりすることがある。保護者にとって利用しやすい制度となるための、更なる工夫が必要と考える。また、まかせて会員の養成方法についても工夫が必要と考える。
(ウ) 福祉	36 移動図書館巡回事業	貸出冊数	直島町の巡回ステーション2か所における年間図書貸出冊数	冊	6,579	7,000	7,084	101.2%	ビジョン最終年度の目標値を前倒しで平成28年度目標値としている。直島町広報紙等による、移動図書館巡回日程等の周知効果が表れてきていると考えられる。	7,000	A					A			毎月1回、移動図書館車が直島町内の2ステーションを巡回し、図書館サービスを提供した。	【直島町】毎月町内2箇所で移動図書館巡回事業を実施しており、当町は図書館がないことから、利用者から大変喜ばれている。
	37 読書推進ボランティア養成事業	講座受講者数	読書推進に係るボランティア養成講座の年間受講者数	人	242	120	95	79.2%	3回シリーズの講座の各定員の合計人数を目標値としている。これまで個別に実施していた絵本の読み聞かせやブックスタートを行うボランティアのほか、対面朗読ボランティアを対象に、H28年度より3回シリーズの講座に再編して開催したため、H27年度より参加者は減少した。	120	B	D	B	C	D	C	C	D	絵本の読み聞かせやブックスタートを行うボランティアのほか、対面朗読ボランティアなどの技術の習得や向上を図るため、連携市町のボランティア（グループ）も参加対象として、これまで個別に実施していた講座を、H28年度より3回シリーズの講座に再編して実施し、計95名の参加があった。	【さぬき市】実施していない。 【東かがわ市】実績なし 【土庄町】連携事業の実施にまで至っていない。 【小豆島町】ボランティア講座のチラシを設置しているが、実績なし。 【三木町】機会は少なかったが連携して、講座や研修会の開催ができた。 【直島町】具体的な取り組みに至っていない。 【綾川町】情報通信の高度化により、本に対する興味関心が低下している現代、子どもたちの、本に触れる機会を創出することは、児童生徒の情操教育の観点からも大切である。
	38 帰国児童等支援事業	指導を行った件数 / 指導が必要な帰国児童等	帰国児童等への日本語指導等対応率	%	100	100	100	100.0%	帰国児童等への日本語指導等に十分に対応でき、児童生徒の円滑な学校生活や学習支援に寄与した。	100	A					D	D		近隣自治体と支援者情報等について情報を共有し、支援が必要な児童生徒の対応に生かした。また、近隣自治体にも情報提供を行った。	【三木町】支援の実績がない。 【綾川町】実績がないものの、支援体制が整っている。
	39 特別支援教育推進連携事業	相談訪問件数 / 相談希望校数	相談希望校等への相談訪問率	%	100	100	100	100.0%	障がいの種類が複雑になってきており、支援を適正に行う体制整備を行う必要があるなかで、希望した学校にはすべて対応できた。	100	A				C	D	D	D	高松市が中心となって高松地域連携推進協議会を運営し、三木町と連携を図った。	【土庄町】連携事業の実施にまで至っていない。 【小豆島町】実施できていないので、基本的には評価できない。 【三木町】今後、地域連携推進委員会に東部養護学校関係者の参加も希望したい。 【綾川町】実績はないものの、支援体制が整っている。

瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョン取組状況調査票（平成28年度事業）

連携協約項目	事業（取組）	K P I（成果指標）								ビジョン 最終年度 目標 H35年度	連携市町評価							H28年度 高松市取組実績	連携市町評価の理由	
		KPI	KPI説明	単位	現況値 H27年度	目標 H28年度	実績 H28年度	目標 達成度	H28年度の目標設定方法及び 目標値に対する実績の理由		高 松 市	さ ぬ き 市	東 か が わ 市	土 庄 町	小 豆 島 町	三 木 町	直 島 町			綾 川 町
教育・文化・スポーツ	40	子ども未来館 学習体験事業	子ども未来館 学習参加校数	校	—	—	—	—	—	50	H29 年度 以降 実施	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	41	史跡・遺跡 の調査研究 及び発信	講座等参加者数	人	3,674	3,000	5,338	177.9%	講座等を年間通じて実施したほか、出前講座等で多くの人に遺跡の調査研究の情報発信を行う場面を設けたため。	6,500	A	C	A	C					一般向けの見学会及び講演会 60回実施 学校向けの見学会・出前講座 13回実施 企画展の開催 3回実施	【さぬき市】高松市歴史講座として津田古墳群の現地案内を行った。 【東かがわ市】圏域自治体にチラシを配布したことにより、予想以上の市外来訪者があった。 【土庄町】連携事業の実施にまで至っていない。
	42	高松市埋蔵 文化財センターの運営	施設利用者数	人	6,216	3,000	4,431	147.7%	企画展や体験講座を実施して、イベントに参加していただく機会を多く設けた。	6,500	A	D	B	C	D		C	体験講座 26回実施 企画展の開催 2回実施	【さぬき市】実施していない。 【東かがわ市】実績なし 【土庄町】連携事業の実施にまで至っていない。 【小豆島町】調査成果物の交換については、従来実施しているが、県内関係部署間で行っているものなので、中枢連携都市圏構想外のものである。 その他資料貸借等については実施していないため、評価できない 【綾川町】展示等の相互貸借は実施できなかったが、埋蔵文化財の調査技術・成果等について情報提供があった。	
	43	中学校総合 体育大会等の連携	中学校総合体育大会等における実施競技数	競技	18	18	18	100.0%	目標設定方法の理由：例年実施している競技の大会を継続して開催することにより、体力・運動能力の向上や相互の友情を深めるとともに、教職員の体育指導の資質を高めるなど、体育の充実発展と心身ともに健全な児童生徒の育成を図ることができる。 目標値に対する実績の理由：例年どおりの競技数の大会を開催し、部活動等での練習の成果を発揮することができた。	18	A					A	B	高松地区総合体育大会、高松地区新人体育大会及び高松地区駅伝競走大会の開催	【三木町】競技力の向上が図られるなど、事業の成果が認められる。 【直島町】事業について一定の成果が認められる。	
	44	高松市屋島 競技場の活用	屋島競技場利用者数（人）	人	—	—	—	—	—	—	120,000	H29 年度 以降 実施	—	—	—	—	—	—	オープンイベント開催に向け実行委員会を設立するとともに、各協力団体と開催に向けて調整を行った。	—
45	地域密着型 トップスポーツ チームの試合 観戦機会 等の提供	トップスポーツチーム試合観戦者数（人）	地域密着型トップスポーツ4チームのホームゲームにおける観戦者数	人	119,384	135,900	118,500	87.2%	過去3ヶ年（24年度～26年度）の実績（前年比）の平均値を基に、算出している。 香川オリブガイナース（野球）の試合数の減少及び一試合平均観戦者数が前年を下回ったことにより、目標値を大幅に下回る結果となった。	179,200	B	D	B	A	B	D	B	圏域内の児童生徒等に、高松市内を拠点に活動している地域密着型トップスポーツチームの試合観戦の機会を提供するため、チーム等との連絡調整及び取りまとめ事務を行った。	【さぬき市】地域密着型トップスポーツチームを利用した、さぬき市向けのイベントは行っているが、他市町と連携して行ったイベントは無いため、広域連携しているとはいえない。 【東かがわ市】連携して事業を実施できたが、参加者が少なかった。 【土庄町】試合観戦及び観光・特産品ブースの提供により観光PRができた。 【小豆島町】高松港発着の観戦バスツアーは、会場まで交通手段が確保され、参加者に大変好評だった。スポーツ少年団の子供たちを中心に、地元小豆島出身の選手への応援ができて大変盛り上がった。 【三木町】試合観戦等の案内はしたものの要望がなかったため実施できていない 【直島町】プロスポーツ選手の試合観戦及び指導を受けることができる数少ない機会なので、積極的に活用している。 【綾川町】競技力向上は、優れた競技者を見る、知ることから始まる。より質の高いスポーツ試合を観戦することは、特定の種目だけではなく、あらゆるスポーツの普及、振興につながるため有効であると考え。	

瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョン取組状況調査票（平成28年度事業）

資料5

連携協約項目	事業（取組）	K P I（成果指標）							H28年度の目標設定方法及び 目標値に対する実績の理由	ビジョン 最終年度 目標 H35年度	連携市町評価						H28年度 高松市取組実績	連携市町評価の理由	
		KPI	KPI説明	単位	現況値 H27年度	目標 H28年度	実績 H28年度	目標 達成度			高 松 市	さ ぬ き 市	東 か が わ 市	土 庄 町	小 豆 島 町	三 木 町			直 島 町
(オ) 地域振興	46 グリーン・ツーリズム等農業振興事業	グリーン・ツーリズム実践団体来場者数（協議会会員のみ）	農業体験等のグリーン・ツーリズムを推進し、都市住民との交流促進及び農業所得の向上を図る。	千人	170	172	168	97.7%	○H28年度の目標設定方法：平成27年度実績からの増加を目標とした。 ○目標値に対する実績の理由：目標人数には及ばなかったが、ほぼ前年並みの来場者数となった。	200	A		C	A	B			グリーン・ツーリズムをPRし、農業体験等を通じた圏域住民との交流促進を図った。 【土庄町】連携事業の実施にまで至っていない。 【小豆島町】年々動員数が増えており、実施にあたり、目標としていた「食」を通じた交流、オーブに親しむ機会の創出や情報のPRに成功しているといえる。 【三木町】県とともにパンフレットを通してグリーン・ツーリズムの推進、情報発信をさらに行うとともに、高松市と近隣市町との連携強化が必要である。	
	47 獣害対策事業	二ホンザル被害の軽減（面積）	高松市鳥獣被害防止計画に基づく、二ホンザルの農作物への被害面積	ha	2.44	—	—	—	—	2.02	H29年度以降実施							—	
	48 産学官連携推進事業【再掲】																		
	49 生涯学習推進事業	生涯学習コーディネーター養成講座参加人数	本市がほぼ毎月開催している生涯学習コーディネーター養成講座への年間参加延べ人数	人	464	478	413	86.4%	H28年度目標：各コミュニティセンターから460人土庄町、小豆島町各1人×9回出席＝18人各コミュニティセンター、連携町からの参加者数が少なかったため目標に達しなかった。	488	B		C	D				生涯学習コーディネーター養成講座を、年間10回実施し、5月からの9回について連携町である2町に対し参加を依頼し、7人の参加があった。また、生涯学習センターで実施している講座を掲載している「まなびかんづめ」を連携町に送付し、連携町での周知等を依頼した。	【土庄町】連携事業の実施にまで至っていない。 【小豆島町】イベント告知のみで、具体的な成果が把握できていないため、評価できない。
	50 男女共同参画センター学習研修事業	学習研修事業参加者数	学習研修事業に参加することによって、男女共同参画に関する意識が啓発される可能性が高いため。	人	3,295	3,650	2,263	62.0%	過去の実績から目標を設定していたが、平成28年度においては、新センターへ移転する関係で、事前準備も含めて休館期間があったことから目標を達成することができなかった。	5,000	C		C	D		C	男女共同参画に対する理解を深めるため、男女共同参画センターにおいて、各種セミナー・講座を実施した。 ・学習研修事業（全48回） ・男女が共に活躍できる社会づくり講座（6回） ・参画センター出前セミナー（15回）など	【土庄町】連携事業の実施にまで至っていない。 【小豆島町】事業の実施はできていない。 【綾川町】相互に情報提供を行っている程度である。	
生活機能の強化に係る政策分野	51 災害時相互応援協定	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A	B	A	A	A	A	A	【さぬき市】県内全ての市町と応援協定を締結済みであるが、相互応援が素早く行えるようにしておく必要がある。 【東かがわ市】県内全ての市町と応援協定を締結済みであり、相互応援協定の必要性を考慮する必要がある。 【土庄町】体制は確保されているが、実際に災害が発生した際、各連携市町において相互応援が素早く行えるようにしておく必要がある。 【小豆島町】体制は確保されているが、実際に災害が発生した際、各連携市町において相互応援が素早く伝えるようにしておく必要がある。 【三木町】大規模災害時に備え、圏域市町間で応援体制を築くことにより、効果的かつ効果的に物資・労力等の受入・提供が可能となった。 【直島町】さらなる協力体制の強化が必要である。 【綾川町】協定が締結できていないが、応援協定が締結できれば妥当性、有効性とも評価できる。	
	52 香川県消防相互応援協定	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A	B	A	A	A	A	A	消防相互応援体制を維持し、不足の事態に備えた。 実績なし。 【さぬき市】県内全ての市町と応援協定を締結済みであるが、相互応援が素早く行えるようにしておく必要がある。 【東かがわ市】県内全ての市町と応援協定を締結済みであり、相互応援協定の必要性を考慮する必要がある。 【土庄町】体制は確保されているが、実際に災害が発生した際、各連携市町において相互応援が素早く行えるようにしておく必要がある。 【小豆島町】体制は確保されているが、実際に災害が発生した際、各連携市町において相互応援が素早く伝えるようにしておく必要がある。 【三木町】応援要請の方法や、応援隊派遣体制などが明記されたことにより、県内市町及び一部事務組合の相互応援体制に寄与した。 【直島町】さらなる協力体制の強化が必要である。 【綾川町】大規模災害等発生時には妥当性、有効性とも評価できる。	
(カ) 災害対策																			

瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョン取組状況調査票（平成28年度事業）

資料5

連携協約項目	事業（取組）	KPI（成果指標）							H28年度の目標設定方法及び目標値に対する実績の理由	ビジョン最終年度目標H35年度	連携市町評価							H28年度高松市取組実績	連携市町評価の理由
		KPI	KPI説明	単位	現況値H27年度	目標H28年度	実績H28年度	目標達成度			高松市	さぬき市	東かがわ市	土庄町	小豆島町	三木町	直島町		
圏域全体の生活関連機能サービスの向上	53	高松空港及びその周辺における消火救難活動に関する協定	—	—	—	—	—	—	—	—	A					A	A	消火救難活動体制を維持し、緊急対応に備えた。 実績なし	【三木町】関係市町の消防機関が協定に基づき合同訓練を実施することにより、消火救難活動の強化に寄与した。 【綾川町】高松空港や圏域における航空機災害発生時には妥当性、有効性とも評価できる
	54	消防業務の事務委託	—	—	—	—	—	—	—	—	A					A	A	受託町における消防行政を円滑に実施するとともに、安全で安心して暮らせるまちづくりを推進した。 建物火災：6件（平成28年暦年）	【三木町】消防活動の円滑化、迅速化に貢献し、地域防災に寄与した。 【綾川町】三木町・綾川町・高松市消防業務の医務委託に関する規約に基づき、事業が実施できている。
	55	地域防災対策事業	圏域市町との防災行政無線等を活用した通信訓練を行う連携市町数	災害時の通信方法の確認のため、防災行政無線等を活用した通信訓練を行い、相互の応援要請や被害状況等の把握を行う。	自治体	0	1	1	100.0%	目標設定方法：圏域7市町と、災害時の通信方法の確認するため、計画的に対応自治体数を1自治体増やす。 実績の理由：直島町と相互の被害状況等の把握のために通信訓練を実施した。	7	A					B	直島町と防災行政無線を活用して、相互の被害状況等の把握するための通信訓練を実施し、操作方法等を確認することができた。	【直島町】圏域住民のために必要であるが、十分な成果はあがっていない。
	56	一般廃棄物の処理・処分に関する業務	—	—	—	—	—	—	—	—	—	A					A	高松市は、綾川町から委託を受け、西部クリーンセンターにおいて、綾川町の区域から排出される一般廃棄物4,990t（し尿及び浄化槽汚泥を除く。）の中間処理（焼却、破碎）を行った。 また、高松市国分寺地区から排出される一般廃棄物を中間処理した後に生じる残さの埋立処分に関する業務を綾川町に委託し、焼却灰2,301tを綾川町西分処分場へ搬出した。	【綾川町】綾川町一般廃棄物処理基本計画に基づいて処理を行っており妥当性、有効性ともに問題はない。
	57	し尿処理に関する業務	—	—	—	—	—	—	—	—	—	B					A	A	三木町・綾川町から排出された、し尿及び浄化槽汚泥の処理を行った。また、本市と綾川町が共有している国分寺町し尿貯留槽の管理を綾川町に委託した。 処理実績 63,887kl (内訳) し尿 浄化槽汚泥 計 三木町 2,460kl 5,448kl 7,908kl 綾川町 1,409kl 3,645kl 5,054kl 高松市 12,851kl 38,074kl 50,925kl 計 16,720kl 47,167kl 63,887kl
58	環境学習等推進事業	環境学習講座参加者数	環境学習講座（環境ワークショップ）、出前講座及び自然観察体験事業の参加者数の合計	人	2,611	2,180	2,210	101.4%	H35年度の目標値を2,400人としており、毎年40人の増加を目指す。 環境学習講座参加者数は年度間の差異が大きく、H28年度は前年度の実績を下回ったが、受講者を圏域全体から募集した結果、目標値を上回る人数の参加があった。	2,400	A	D	B	C	D	D	B	D	環境学習講座の参加応募条件を「瀬戸・高松広域連携中枢都市圏内に在住、又は通勤・通学する方」として、広報誌やホームページで参加者を募った。 【さぬき市】取組実績がないため、まずは連携市町との情報交換の場を設けるなどの必要があると思われる。 【東かがわ市】ごみの減量化の出前講座や緑のカーテンの広報を行ったが、圏域内の連携には至っていない。 【土庄町】連携事業の実施にまで至っていない。 【小豆島町】実績なし 【三木町】取組みがないため評価なし 【直島町】自然探検は目標どおり達成でき、一定の成果があった。定員制ということもあり、参加者の大半を町内児童がしめたため、中心市での周知・啓発による圏域内の児童の参加についてはわずかとなった。 【綾川町】高松市では取り組みを進めているが実績がない。

瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョン取組状況調査票（平成28年度事業）

資料5

連携協約項目	事業（取組）	K P I（成果指標）							H28年度の目標設定方法及び目標値に対する実績の理由	ビジョン最終年度目標 H35年度	高松市	連携市町評価						H28年度高松市取組実績	連携市町評価の理由
		KPI	KPI説明	単位	現況値 H27年度	目標 H28年度	実績 H28年度	目標達成度				さぬき市	東かがわ市	土庄町	小豆島町	三木町	直島町		
(キ) 環境	59 環境負荷の少ない自動車の普及促進	市内における電気自動車保有台数	環境に負荷の少ない電気自動車を多くの市民に周知することにより、自動車の新規購入や買換えの際における電気自動車購入の意識付けを行う。また、市が設置した急速充電器の運営を行うとともに、市内の充電設備の情報提供を行うことなどにより、電気自動車の普及を図る。	台	211	305	258	84.6%	過去の電気自動車保有台数（実績）の平均増加率と同程度の増加率が今後も継続するものとして目標値を算出。達成率は目標値の85%で、保有台数増加率は全国的にも伸び悩み傾向にあるが、保有台数は毎年着実に増加している。	1,665	B	D	B	C	D	D	B	D	【さぬき市】取組実績がないため、まずは連携市町との情報交換の場を設けるなどの必要があると思われる。 【東かがわ市】実績なし 【土庄町】環境負荷の少ない自動車が少しずつ増えてきているが、もっと住民意識を高め、環境負荷軽減につなげていく必要がある。 【小豆島町】求められる社会的ニーズは存在するものの、具体的な連携行動が成されなかった。 【三木町】取組みが不明ため評価なし 【直島町】電気自動車を展示することで環境負荷の少ない自動車の周知に一定の効果があった。しかし、なおしま環境フェスタ以外で周知する機会が無いため検討が必要である。 【綾川町】実績がない。
	60 小型家電等リサイクル推進事業	年間回収量（トン）	市が実施するボックス回収・ピックアップ回収・イベント回収により回収された使用済小型家電の総量	トン	18	18	15	83.3%	高松市の目標値（H35年度8トン）及び連携市町の目標値の合計	20	D	B	B	C	C	B	A	A	【さぬき市】総回収量は前年度を上回ったものの、小型家電等リサイクルに対する市民の認知度をさらに向上させる必要がある。 【東かがわ市】担当者会議で情報交換しているが、自治体ごとの買値が異なるため、相互連携には至っていない。 【土庄町】少しずつ回収量が増えているが、さらなる回収量の増加が必要である。 【小豆島町】それぞれの連携市町の状況は共有されているが、圏域内の具体的連携行動については、実績がなく本構想の主旨に沿った中枢市と連携市町の役割分担の見直しが必要と考える。 【三木町】回収は増えつつあり、認知率は向上していると思われる。しかし、依然として対象品目以外の品目も多数回収されており、更なる周知が必要である。 【直島町】町内の小型家電は全てクリーンセンターへ持ち込まれ、そこでピックアップ回収している。 【綾川町】小型家電のリサイクルに役立っている。
	61 不法投棄対策事業の推進	不法投棄撲滅ふれあいグリーン作戦参加者数	各市町が連携して地域住民及びボランティア参加のグリーン作戦を実施することで、地域の環境美化と不法投棄撲滅に対する意識啓発を図る。	人	7,122	6,600	6,800	103.0%	28年度の実績の約2割増しの8,000人に加え、最終年度までにグリーン作戦の活動回数を増やすよう検討し、さらに500人の参加者数の増加を目標とした。（参考：25年度5,869人、26年度6,342人）	8,500	A	C	A	B	A	B	B	A	【さぬき市】参加者数は前年並みである。毎年ある程度の不法投棄の報告があるので、不法投棄件数を減少させていくために、さらなる環境美化への意識啓発を行う必要がある。 【東かがわ市】本市独自の活動となっており、相互連携には至っていない。 【土庄町】継続して清掃活動できている点は評価できる。しかしながら、依然として不法投棄はあるため、今後も継続して事業を行う必要がある。 【小豆島町】事業目標に掲げる、グリーン作戦の実施等は実施されており、目標は達成されているものと解されるが、圏域住民の目が向けられるよう、啓発事業には真新しさも必要であり、圏域内での新規施策立案に向けた共同研究の機会求められていると考える。 【三木町】「高松・三木出合いふれあいグリーン作戦」については、一定の参加者もあって定着しており、開催場所を何年か毎に変更しながら、不法投棄防止を周知していく。 【直島町】毎年恒例で行っている町内一斉清掃“ごみ0クリーンデー”が雨天のため、中止になった。 【綾川町】環境美化と不法投棄撲滅の意識啓発に役立っている。
(ア) 地域公共交通	62 ICカードを利用した公共交通利用促進事業【再掲】																		
	63 コミバス等へのI r u C a導入事業	コミバス等へのI r u C a導入事業に参加した自治体数	取組の目的は、I Cカード「I r u C a」による各種割引サービスの適用を受けられることができるよう、コミバスにシステムを導入し、利便性の向上を図るものであり、施策の参加自治体数を増やす。	自治体	1	1	1	#VALUE!	28年度は、連携自治体に対し、I r u C aを利用したサービスの拡充とその有効性等について検討する段階と位置づけ、コミバス等へのI r u C a導入については、次年度以降と考え目標を設定した。	4	A	D	C	D	D	A			【さぬき市】取組自体の妥当性や有効性はあると思われるが、実施していない。 【土庄町】連携事業の実施にまで至っていない。 【小豆島町】ことごとこの乗り継ぎ等に係る割引サービスシステムの導入については、費用負担に部分等で課題があるため。 【三木町】取組みが不明ため評価なし 【綾川町】事業実施に向けて十分協議ができています。
	64 橋りょう改築修繕事業										B	A	A	C	D	B	C	C	【さぬき市】さぬき市の行政区境界にある全3橋について、相手方の三木町と連携を行い、点検を実施することができたため。 【東かがわ市】橋りょう長寿命化修繕計画に基づき計画的な維持管理ができていますが、圏域の連携には至っていない。 【土庄町】今後、案件があれば高松市と協議等を行い、情報共有等連携を図っていく。 【小豆島町】実績なしのため。 【三木町】今後、行政区境界の橋梁修繕について、情報共有等連携を図る。 【直島町】具体的な取り組みに至っていない。 【綾川町】行政区境界の橋梁修繕について、情報共有等重要である。（通行規制等）
(イ) 道路等の交通インフラの整備・維持																			

瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョン取組状況調査票（平成28年度事業）

資料5

連携協約項目	事業（取組）	K P I（成果指標）								ビジョン 最終年度 目標 H35年度	連携市町評価						H28年度 高松市取組実績	連携市町評価の理由		
		KPI	KPI説明	単位	現況値 H27年度	目標 H28年度	実績 H28年度	目標 達成度	H28年度の目標設定方法及び 目標値に対する実績の理由		高 松 市	さ ぬ き 市	東 か が わ 市	土 庄 町	小 豆 島 町	三 木 町			直 島 町	綾 川 町
イ 結びつき やネット ワークの 強化に 係る政 策分野	65 道路新設改 良事業	—	—		—	—	—	—	—	—	B	A	C	B	C	行政区域界での生活道路（市道）の新設改良 工事について、該当がなかった。	【さぬき市】行政区域界の道路拡幅事業について、情報共有等重要であるため。 【土庄町】今後、案件があれば高松市と協議等を行い、情報共有等連携を図っていく。 【三木町】高松市内の道路の新設改良事業の情報提供は特になし。また、行政区境 の事業も特になし。 【綾川町】行政区域界の道路拡幅事業について、情報共有等重要である。			
	66 ブランド農産 物育成支援 事業【再掲】																			
	67 自然体験等 を通じた住 民の交流の 促進	ホームページ アクセス数	イベント情報を掲載する 瀬戸・高松広域連携中 枢都市圏のホームページ のアクセス数	件	—	—	—	—	—	今後アクセ スの状況をみ て設定	A	B	B	C	B	D	D	イベント情報をホームページで発信するためのポー タルサイトを構築し、29年度より運用を開始した。 【さぬき市】雨滝自然科学館において夏休み期間に企画展や親子教室を実施し、県 内の小・中学校にチラシを配布して周知している。 【東かがわ市】市内団体の独自の取組を支援しているが、圏域内での連携が十分では なかった。 【土庄町】連携事業の実施にまで至っていない。 【小豆島町】自然体験を通じてその土地の文化等も学ぶことができ、交流できる。 【三木町】取組がないため評価なし 【綾川町】自然体験等を含んだイベントの構築及び学校への働きかけを行う。		
ウ 圏域マネジメント能力の 強化に係る政策分野	68 移住・交流 促進事業	圏域市町 全体での社 会増減 （単位： 人）	圏域内の市町が協力・ 連携して、移住・交流を 促進することにより、圏域 への人口流入に寄与する ことができるため。	人	-134	619	472	76.3%	過去の実績等を踏まえて目標 を設定していたが、平成28年 においては、圏域としての取組を 開始した段階ということなどから、 圏域内の約半数の市町で社会 減となる結果となり、目標を達成 することができなかった。	1,850	A	D	B	B	A	B	C	B	香川県の補助金を活用して、各市町で移住者 を対象とする民間賃貸住宅家賃等の補助事業を実 施した。 また、圏域独自の取組について、担当者間での協 議を開始した。 【さぬき市】実施していない。 【東かがわ市】移住者への金銭的支援や東京・大阪での移住フェア、東讃地区での移 住者交流会など実施しているが、圏域内での連携が十分ではなかった。 【土庄町】移住促進の効果が出ている。 【小豆島町】連携して取り組むことで、地域全体の魅力を高めることができる。フェア等 合同で実施することで集客力を高めることができる。 【三木町】引き続き、移住フェアへの参加・移住者交流会へ参加し、圏域内のPR活動 を行う。 【直島町】圏域内での取り組みについて、具体的な取り組みがない。 【綾川町】各市町での取組が主になっているので更なる連携が必要である。	
	69 人材育成事 業、合同研 修等の実施	合同研修の 開催回数	合同研修の機会を増や し、圏域自治体職員の 能力向上及び市町域を またいだ交流や連携を図 るため。	回	5	5	6	120%	人材の育成・交流及び圏域のマ ネジメント能力の向上を図ること ができる研修を合同で実施する。 H28年度については、教養講演 会に加え、特別教養講演会を開 催したことに伴い、目標値を上 回った。	6	A	C	A	B	A	A	B	A	A	業務改善能力や実践的政策形成能力を高める ための研修を始め、行政環境の変化に対応できる 幅広い視野を養うための教養講演会を合同で実 施し、圏域内市町職員の能力・資質の向上を図 った。 【開催回数】 ・業務改善能力向上研修 1回 ・政策形成能力向上研修 1回 ・OJT研修 1回 ・政策評価能力向上研修 1回 ・教養講演会 2回 【さぬき市】各研修に2～4日程度要し、参加者の負担もあり、全ての研修には参加で きていない。今後も研修への参加周知が必要である。 【東かがわ市】職員の能力、意識向上や交流のきっかけとなった。 【土庄町】職員の能力・意識向上が図れ、交流のきっかけにもなった。 【小豆島町】職員の能力向上につながり有意義である。受講生の感想も好評である。 【三木町】他市町職員との交流を深め、職員のマネジメント能力の向上につながってい る。 【直島町】具体的な内容に触れることができ、参考になった。 【綾川町】合同研修により職員の能力向上等の取組がされている。
	70 地域コミュ ニティ人材 養成事業	講演会・講 習会の参加 者数	地域のリーダー養成を目的 として実施している人 材養成事業の参加者が 増加することで、地域コ ミュニティの自立と活性化 が図られる。	人	322	360	310	86.1%	従来より地域自治組織関係者 等を対象に実施していた当事業 を、平成28年度よりビジョン取組 事業と位置付けたことから、前年 度実績値に各市町における参加 見込み数を加算したものの。	360	B	C	B	C	D	B	B	B	平成28年度高松市地域コミュニティ人材養成事 業 （1）日時 平成29年2月18日（土） （2）場所 高松テルサ（510人収容可能） （3）講師 AN-BAI 代表 加留部貴行 氏 （4）参加者310名（うち圏域市町参加者 11名） 【さぬき市】開催回数については、前年と同様であるが、出席者数については、前年を下 回った。開催曜日、時間等検討を要する。 【東かがわ市】実績なし 【土庄町】連携事業の実施にまで至っていない。 【小豆島町】実績なし 【三木町】先進地事例等の報告により、地域コミュニティ活動等に関する方の意識を高 められる点において一定の評価ができる。 【直島町】具体的な内容に触れることができ、参考になった。 【綾川町】事業を十分に活用できていないが人材養成の観点から有効であると考えている。	
71 公共施設の 共同利用、 共同設置に 関する調査・ 研究事業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	県レベルで実施予定	県レベルで実施予定